

令和4年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和5年度～令和7年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	観光事業コーディネーター配置事業（地域おこし協力隊事業）		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/観光振興と交流人口の拡大	担当課	商工観光課
施策①	稼ぐ力を高める戦略的な観光地域づくりと滞在交流型観光の推進	電話番号	0193-27-8421
施策②	DMOを中心とした観光地域づくりの推進	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人材育成と産業の振興	新規・継続	継続
市長基本施策	産業振興を通じた定住促進	補助・単独	補助
事業期間	令和4年度～令和7年度		
事業の概要			
釜石オープン・フィールド・ミュージアム構想を実現するため、体験プログラムの開発・実施及び観光に関する情報発信を行うコーディネーターを募集する。また、令和5年度の三陸ジオパーク再認定を控え、事務局体制強化等が課題となっていることから、三陸ジオパークの専門知識を持った人員の募集を行うもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
地域DMOである（株）釜石DMCが観光地域づくりをマネジメントし、官民が一体となって連携して精度の高い観光戦略を策定し「釜石オープン・フィールド・ミュージアム構想」を推進させるためには、市、DMC、観光関連機関がより一層の連携を図る必要があり、釜石の魅力を外に発信し伝えることで誘客促進を図る必要があるが、現状では外部に十分伝えきれていない。
目的
市、DMC、観光関連機関がより一層の連携を強化するために、各機関をつなぐ体制を構築する。また外部からの誘客を促進することで、交流人口と滞在人口の増加を目指す。 専門性や学術性の高いジオに関する知識を習得した三陸ジオパークコーディネーターを育成し体制強化を図る。

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
<ul style="list-style-type: none"> 市、DMC、観光関連機関の連携を図り、円滑に事業を進めるため調整役となるコーディネータを1名配置。 三陸ジオパークの再認定に向けて観光関係団体との連携を図り、ジオサイトの整備や機運醸成を担うコーディネータを1名配置。 		
事業費		
R 5	R 6	R 7
9,600 千円	9,600 千円	9,600 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	見直し余地あり	適切
評価結果			
DMOを中心とした観光地域づくりの推進につながる事業であるため、新たなイベントや手法のアイデアが生み出されることが期待される事業である。戦略的に地域おこし協力隊制度を活用し、ジオパークについて実施体制を整えたい。			

令和4年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和5年度～令和7年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	四季彩イベント開催事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/観光振興と交流人口の拡大	担当課	商工観光課
施策①	稼ぐ力を高める戦略的な観光地域づくりと滞在交流型観光の推進	電話番号	0193-27-8421
施策②	多様な観光イベントの開催と誘客促進	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人材育成と産業の振興	新規・継続	継続
市長基本施策	多様につながる拠点としての先駆的なまちづくり	補助・単独	単独
事業期間	平成25年度～令和7年度		
事業の概要			
「中心市街地の活性化・世界遺産と鉄づくりの産業遺産観光の促進・ラグビーワールドカップ令和元年度を活用した地域再生」を推進するために、四季を活用したイベント等を通じ、市の魅力を市内外に発信するとともに、出店業者や近隣地域への経済効果を図るもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
中心市街地に整備された施設の活用と、毎年減少している観光客の減少や新型コロナウイルス感染症拡大の影響により落ち込んだ賑わいを復活させ、街に元気を取り戻す必要がある。
目的
釜石の四季を活用したイベントを実施して、地域に賑わいを取り戻し交流人口の拡大を図る。

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
市内各地でのイベントの実施及び市内各団体が実施するイベントへの補助		
事業費		
R 5	R 6	R 7
19,000 千円	19,000 千円	19,000 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	適切	見直し余地あり
評価結果			
多様な観光イベントの開催と誘客の促進につながっている重要な事業であるため、引き続き関係機関と連携し市内の活性化及び交流人口拡大に努められたい。一方、近年、決まった団体に決まった金額を交付している状況であり、真に交流人口拡大に繋がる事業への補助になっているか審査が必要である。釜石市の厳しい財政状況や他市町村の状況を考慮し、釜石市として力を入れていく部分を明確にし、各イベントの拡大・統合・削減・廃止等持続可能な運営を行えるよう各関係機関と調整されたい。			

令和4年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和5年度～令和7年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	釜石活性化イベント運営事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/観光振興と交流人口の拡大	担当課	商工観光課
施策①	稼ぐ力を高める戦略的な観光地域づくりと滞在交流型観光の推進	電話番号	0193-27-8421
施策②	多様な観光イベントの開催と誘客促進	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人材育成と産業の振興	新規・継続	継続
市長基本施策	多様につながる拠点としての先駆的なまちづくり	補助・単独	単独
事業期間	令和3年度～令和5年度		
事業の概要			
<p>当市を訪れる観光客に向け、当市の観光物産の情報発信を積極的に行い、市外で開催されるイベントでの当市優良地場製品の紹介に努めるとともに、市内イベントを開催して地域資源を活用した誘客の拡大を図るもの。</p>			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
<p>市中心部（東部地区）にはFP1によりイオンタウン釜石、釜石市民ホール、釜石情報交流センターが建設されており、来訪者の憩いの場や文化・芸能イベントを中心に様々なイベント空間としても利用できる市民広場が整備された。また、FP3として水産業や釜石湾沿岸部の賑わいを復活させるための施設として魚市場や魚河岸テラスが建設されており、今後はこれらの施設を活用したイベント等を実施し、市街地の賑わいづくりを図る必要がある。</p>
目的
<p>市の窓口である釜石駅や駅周辺施設にてSL 銀河等の企画列車に合わせたイベントを行うことにより、釜石市街地中心部の賑わいづくりを観光で支援するとともに市外への情報発信にも繋げることを目的とする。</p>

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
SL 銀河等企画列車運行に伴う関連イベント（歓迎セレモニーやお出迎え）の実施		
事業費		
R 5	R 6	R 7
700 千円	0 千円	0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	適切	適切
評価結果			
<p>釜石駅でのおもてなしとして、虎舞演舞や大漁旗の旗振りを行うことで伝統芸能や釜石の特色ある魅力の発信につながっている。また、観光パンフレットやクーポン券の配布により、釜石を訪れた観光客が釜石を知り、釜石を回遊することで飲食業や宿泊業への誘客につながっている。令和5年度にはSL 銀河最終運行もあるため、よりおもてなしに力を入れ、観光PRや誘客に繋がりたい。</p>			

令和4年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和5年度～令和7年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	伝統芸能「釜石虎舞」全国発信事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/観光振興と交流人口の拡大	担当課	商工観光課
施策①	稼ぐ力を高める戦略的な観光地域づくりと滞在交流型観光の推進	電話番号	0193-27-8421
施策②	多様な観光イベントの開催と誘客促進	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人材育成と産業の振興	新規・継続	継続
市長基本施策	多様につながる拠点としての先駆的なまちづくり	補助・単独	単独
事業期間	令和4年度～令和7年度		
事業の概要			
全国虎舞フェスティバルを市街地中心部で開催することで、街中のにぎわいを創出するとともに、市外への情報発信にもつなげる。新型コロナウイルス感染症の影響から令和3年度は延期となったものの、釜石虎舞は釜石を代表する郷土芸能であることから、当該イベントを継続することは観光のPR及び伝統芸能の継承を図るもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	中心市街地への人出が減っており、中心市街地の賑わい創出による活性化が必要。
目的	中心市街地に整備された施設（情報交流センター、TETTO、大町広場等）を活用したイベントの開催による市街地の賑わい創出。市の郷土芸能である「虎舞」によるPR。

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
市内の虎舞団体による「虎舞フェスティバル」の開催 「釜石虎舞」を活用した市のPR活動		
事業費		
R 5	R 6	R 7
2,000 千円	3,008 千円	3,008 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	適切	適切
評価結果			
多様な観光イベントの開催と誘客の促進につながっている重要な事業であるため、引き続き関係機関と連携し市内の活性化及び交流人口拡大に努められたい。今後は、他イベントとの合同開催についても検討されたい。			

令和4年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和5年度～令和7年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	物産センター大規模改修事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/観光振興と交流人口の拡大	担当課	商工観光課
施策①	稼ぐ力を高める戦略的な観光地域づくりと滞在交流型観光の推進	電話番号	0193-27-8421
施策②	多様な観光イベントの開催と誘客促進	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト	人材育成と産業の振興	新規・継続	継続
市長基本施策	産業振興を通じた定住促進	補助・単独	単独
事業期間	令和4年度～令和7年度		
事業の概要			
施設の老朽化により、施設本体や設備に不具合が生じていることから、計画的な改修を行う。改修を行うことにより、人と情報の交流拠点として、再生を図るもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
釜石物産センターの消防用設備が老朽化し、設備の耐用年数を迎えているため、計画的な設備更新が必要な状況。加えて、地下駐車場の泡消火設備は稼働不能な状態となっており、駐車場の利用を停止している。このため、物産センター利用者をはじめ、周辺施設利用者に対し不便をかけている。加えて、外壁等の老朽化による雨漏りのため、入居テナントに対し不便をかけている。
目的
法令に基づき、消防用設備の基準を満たした設備に更新することにより、利用者の安全安心を確保するとともに、地下駐車場の利用再開を目指す。 また、外壁等を改修し、雨漏りの解消を図りテナント事業者の安全な商品提供を促す。 さらには、施設を健全な状態に保つことで、民間の指定管理導入を見据えたサービスの向上を図る。

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
<ul style="list-style-type: none"> ・泡消火設備更新工事 ・スプリンクラー設備更新工事 ・火災報知設備更新工事 ・外壁等改修工事 		
事業費		
R 5	R 6	R 7
0 千円	16,000 千円	110,000 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
見直し余地あり	適切	見直し余地あり	適切
評価結果			
当該施設は、駅前大規模商業観光施設としてその好立地を生かし釜石市の観光に寄与しているが、施設の老朽化に伴い費用対効果を見直す必要がある。今後の施設のあり方を検討のうえ、修繕に着手すること。			

令和4年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和5年度～令和7年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	ふるさと便お届け事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/観光振興と交流人口の拡大	担当課	商工観光課
施策①	稼ぐ力を高める戦略的な観光地域づくりと滞在交流型観光の推進	電話番号	0193-22-2111
施策②	地域ブランドの創出と物産振興	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人材育成と産業の振興	新規・継続	継続
市長基本施策	市民が納得する財政運営	補助・単独	単独
事業期間	平成27年度～令和7年度		
事業の概要			
個人からの寄附に対し地場産品をふるさと便としてお届けし応援への謝意を表し、リピーターの獲得及び寄附者の増加を図るとともに、特産品の掘り起こしによる六次産業化も促進し、当市の魅力を全国に発信するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
安定的な財源の確保が難しくなり、市内飲食店や小売業事業者の衰退などが著しい中、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっており、ふるさと納税による収入は貴重な財源確保の手法となっていることから、安定的な収入として確保することが必要となっている。
目的
ふるさと納税で得た収入を、市民の課題解決のための事業に充てるとともに、市の特産品を県内外にPRすることで知名度アップや特産品の開発や掘り起こしにより地域経済活性化に繋げたい。

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
<ul style="list-style-type: none"> 各ポータルサイトのスムーズな運営 寄附者へのレスポンスを確実に丁寧に行う ふるさとチョイス特集ページの活用 楽天ふるさと納税返礼品の品数を増やす 		
事業費		
R 5	R 6	R 7
400,000 千円	400,000 千円	400,000 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
当事業は、地場産品の販路拡大や、新たな特産品の発掘等が期待される非常に重要な事業であるため、引き続き市内事業者等と連携し、寄附者の動向を分析しながら、釜石市の地域ブランドの創出へ向けた取組を行われたい。なお、ふるさと納税額の増加に伴い増大する業務は、A I・O C R等の技術を積極的に活用し、負担軽減に努められたい。			

令和4年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和5年度～令和7年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	サスティナブルツーリズム構想推進事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/観光振興と交流人口の拡大	担当課	商工観光課
施策①	釜石の強みを生かした国内外の交流の拡大	電話番号	0193-27-8421
施策②	サスティナブルツーリズム（持続可能な観光）とインバウンドの推進	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人材育成と産業の振興	新規・継続	継続
市長基本施策	多様につながる拠点としての先駆的なまちづくり	補助・単独	補助
事業期間	令和4年度～令和5年度		
事業の概要			
釜石オープン・フィールド・ミュージアム構想により、釜石市内全域に存在する「地域の宝」を釜石市民の間で共有するとともに、釜石市内外にそれを伝えていくために、滞在交流型観光として、市内を回遊するコースや体験プログラムを開発し実施するほか、サステナブルツーリズムを推進するため全国8自治体と連携し問題点を共有しながら研修会等を実施するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
（株）かまいしDMCが地域DMOとして観光地域づくりマネジメントし、官民が一体となり農・商・工などが連携することで「釜石オープン・フィールド・ミュージアム構想」の推進が期待される。一方で、新型コロナウイルス感染拡大により、市内のイベント等の中止が相次ぎ、外部との交流の機会も減少したため、今後はアフターコロナを見据えた新たな観光の在り方や「持続可能な観光」を実現することが課題となっている。
目的
「釜石オープン・フィールド・ミュージアム構想」により、市内全域に存在する「地域の宝」を釜石市民の間で共有し、市内外にそれを伝えていくための「滞在交流型観光システム」を導入し、ワーケーションや市内全域を回遊するコースの造成、体験プログラムの開発・実施をする。併せて、来訪者調査を実施することにより、市の入込客数の増加と市内で消費額のさらなる拡大を目指す。

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
滞在交流型体験プログラム等コンテンツの造成 観光プロモーション映像の制作 観光推進リーダー（観光人材）の育成 広告及び情報発信		
事業費		
R 5	R 6	R 7
14,000 千円	0 千円	0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	適切	適切
評価結果			
地方創生推進交付金を活用し、サスティナブルツーリズムとインバウンドの推進が図られている重要な事業である。一方、市の財政状況等を鑑み、R6年度までに、それまでの取組の効果を検証し、効果の高い取組を実施するなど、持続可能な体制を構築しておく必要がある。			